

まほろば秦野通信

令和2年3月26日

タイトル	市内初 救命率の向上や後遺症軽減のため 秦野赤十字病院と派遣型救急ワークステーション協定を締結
When (いつ)	3月30日(月曜日) 午前9時半～10時
Where (どこで)	市役所本庁舎3階 市長応接室
Who (だれが)	秦野市(高橋昌和市長)と秦野赤十字病院(田中克明院長)
How (どのように)	秦野赤十字病院に救急車と救急隊員を週3回派遣し、重症度・緊急度の高い傷病者の要請時に、医師及び看護師を救急車に同乗させ、救命率の向上と後遺症の軽減を図ります。
Why (なぜ)	秦野市の救急体制の強化及びメディカルコントロール体制の構築を含めた病院前救護体制の充実、並びに救命処置の質の向上を図ることを目的に締結します。
How much (予算)	・医師等の同乗に伴う賠償責任保険及び傷害保険 ・事業開始に伴う消耗品 など合計34万円
過去の実績	市内の局地的な災害に対応していただくため、平成26年2月に秦野赤十字病院のDMAT(災害派遣医療チーム)を基軸にした、秦野赤十字病院救護班派遣の協定を締結し、訓練等を通じて連携強化に取り組んでいますが、救急車に医師同乗で出動することについての協定は初めてとなります。
問い合わせ	警防対策課救急対策担当 担当:小室 電話0463(81)7991